

かけはし

主な記事

- 総会、研修会、見学会
- 新貨物ターミナル、まちびらき式典他
- 中央公園リニューアル、ヌマツ ジャムズ他
- 要望、民間の動向

こちらを読み取りご覧
いただくこともできます。



編集・発行／鉄道高架化とまちづくりを推進する会 〒410-0046 沼津市米山町6-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 921-1000(代)・FAX (055) 921-1105

令和7年度 総会の開催



紅野会長の挨拶

令和7年7月16日、会員等71名の出席のもと総会を開催しました。令和6年度の事業報告・決算及び令和7年度の事業計画・予算について審議が行われ、鉄道高架を含む沼津駅周辺総合整備事業に関する情報発信を行い、市民理解の更なる促進を図る方針が確認されました。また、市沼津駅周辺整備部 推進課の遠藤課長から、令和7年度における沼津駅周辺総合整備事業の取り組みについて説明をいただきました。

新貨物ターミナル現場見学会・まちづくり研修会



新貨物ターミナル現場見学会



まちづくり研修会

令和7年5月22日、(一社)沼津建設業協会／沼津セントラル・コンストラクション(協)と共催による、まちづくり研修会を開催し48名が参加しました。沼津の未来を担うインフラ整備の現状と展望について理解を深め、地域の活力を支える公共事業の重要性や、建設産業が果たすべき役割についてまちづくりのヒントとなるお話を耳を傾けました。

令和7年11月13日、整備が進められている「新貨物ターミナル」の現場見学会を開催し、推進する会から23名が参加しました。現地で「コンテナホームや構内跨線橋などを歩いて見学し、事業が着実に前進している様子を肌で感じることができました。完成後の姿をイメージしながら施設配置や動線を確認することで、物流拠点が今後どのように整備され、地域や産業を支える役割を担っていくのかについて、理解を深める貴重な機会となりました。

本誌を含む
バックナンバーはこちら→





原西部地区において施工中の新貨物ターミナルでは、コンテナホーム・主要施設・荷捌き所の工事や線路の敷設が進んでいるほか、コンテナホームへの進入路（写真中央）が完成するなど、建物や構造物の整備が着々と進んでいます。



↑ 整備状況の動画はこちら

着々と工事が進む 新貨物ターミナル



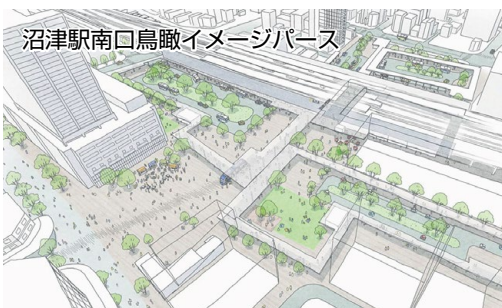
今後、鉄道高架事業の進展にあわせて更なるエリアの価値・魅力が高まっていくことが期待されます。



沼津駅南第一地区土地区画整理事業が竣工され、事業区域内では、道路等の公共施設の整備改善と宅地の利用増進を一体的に進めてきたことで、利便性や防災性の向上が図られ、良好な居住環境が形成されました。

事業竣工を記念して、「まちびらき記念式典」が令和7年9月8日、あまねガード南側で執り行われました。式典では記念碑の除幕やバルーンリリースなどが実施され、地域の皆さまや関係者とともに新しいまちのスタートを祝いました。

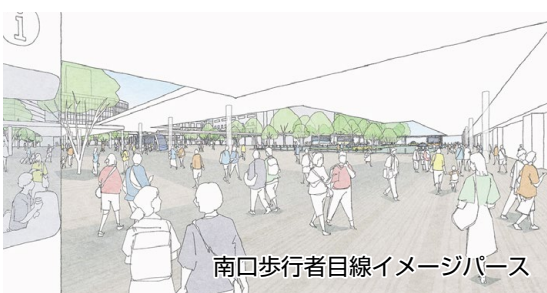
沼津駅南第一地区 土地区画整理事業竣工



鉄道高架後の沼津駅舎・駅前広場のデザインイメージ案が公表されました。

新たに生まれ変わる駅や駅前広場は、「えきとまちがつながる『大きなえき』」、「使いやすい、にぎわいのある『えきまち広場』」、「風景と調和し、人々の活動とともに『沼津らしさ』」をデザインコンセプトに掲げ、単なる移動のための空間ではなく、都市の魅力を引き出す場として、人々が快適かつ楽しく過ごせる空間を創出すべく検討が進められています。

市は、オープンハウス等により市民意見を聴取しながら、令和8年度末に駅舎や駅前広場などに関するデザインの基本的な考え方をとりまとめた「デザイン基本計画」を策定する予定です。



駅舎・駅前広場デザイン

中央公園 再整備事業

中心市街地にある中央公園では、開園から約50年が経過し、施設の老朽化等を背景に大規模なリニューアルが進められています。

「沼津市中央公園再整備基本計画」等に基づき、開放感のある広場に加え、明るく綺麗で洗練されたトイレやカフェ等の滞在機能も整備され、日常の居心地とイベント利用のしやすさを両立する「立ち寄り、過ごし、交流できる」公園として、令和9年3月に全面供用開始予定です。



リニューアル後の中央公園イメージ



↑ 特設 HP は
こちら



ゆったり過ごせるデッキエリア

沼津駅南口の新たな賑わい拠点整備

沼津駅南口の西武百貨店跡地では、UR・民間事業者の3者が連携し、新たな賑わい拠点「NUMAZU JAMS（ヌマヅジャムズ）」の整備が進められています。

飲食、物販などの店舗に加え、誰もが利用しやすいトイレやまちづくりの拠点、イベントや待ち合わせ等に使える広場を組み合わせ、滞留と交流を生む拠点が形成されます。開業は令和8年秋頃を予定しています。



着工前トークイベント

ストリートスポーツパーク 新エリア拡張

令和7年8月、沼津駅周辺の杉崎町にて試験運用中の「ストリートスポーツパーク」は、これまでの利用層に加えて小学生以下の子供と保護者が安心して楽しめる「キッズ・ファミリーエリア」を新たにオープンし、オープン当日にはフリースローやランバイク・スケートボード体験などのオープニングイベントが行われました。

幅広い年齢層の方が、まちなかで気軽にストリートスポーツを楽しむことができる場所として、より一層の市民の交流やにぎわいが生まれています。



3×3バスケットコート



新エリアオープニングイベント



沼津市公式LINE友だち募集中！

沼津のまちづくりをはじめ、市からの大切なお知らせをお届けしています。ぜひ、友だち登録をお願いします。



登録はこちら

国土交通省への要望

令和7年11月4日、本格的に工事が始まった「沼津駅付近連続立体交差事業」を着実に推進するため、頼重市長らとともに国土交通省を訪問し、高架化事業予算の安定的かつ継続的な確保について要望活動を行いました。

当会からは、沼津駅舎・駅前広場等デザイン検討会議の委員である大木真実氏（写真左）が参加しました。鉄道高架事業を契機に、駅周辺における市街地再開発事業等による建物更新が活発化するなど、まちづくりの機運が高まっています。

市民の皆さまからも大きな期待が寄せられており、関係機関と連携しながら事業の推進に取り組みでまいります。



加藤国土交通大臣政務官への要望

民間によるまちづくりの動向

沼津商工会議所「街なか活力創造特別委員会」は、鉄道高架後のまちの姿を見据え、民間の発想を交えてまちづくりの議論を深めてきました。

この度、約2年の検討結果をとりまとめ、令和7年10月28日、頼重市長に「まちづくり提言書」を提出しました。今後の官民連携による具体的なまちづくりの指針となることを期待しています。



提言書を提出

令和7年10月1日、沼津アーケード名店街を含む町方町・通横町地区では、先行して再開発が進められている第一地区にて施設建築物新築工事の起工式が行われました。地上10階建ての複合施設は令和10年頃の完成を予定しています。

新施設は、1階に店舗と地域開放スペースを設ける構成で、来街者の集いや憩いの場となるほか、新たな賑わいの創出に繋がる交流の場となることが期待されています。



完成イメージデザイン

鉄道高架事業をはじめとする「沼津駅周辺総合整備事業」については、以下で詳しく紹介しています。

・沼津市公式ホームページ
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station>



Facebookページも
 「沼津発→未来へ」

